

こんごういん ニュース
金剛院 NEWS

新しい本尊を迎えて一年を締めくくりました



耐震改修が大詰めを迎えた12月24日、金剛院ご本尊「阿弥陀三尊像」が、修復された宮殿（ぐうでん）に納められました。

京都の職人さんたちによって、いねいに修復された仏具は、60年前の創建当時を思わせる輝きを放ち、生まれ変わって戻ってきました。



法要が終わり渡邊仏師によって阿弥陀三尊像が宮殿から慎重に運び出されて参列者にご披露されました。慈悲にあふれた表情、衣や光背に施された繊細な装飾を間近にして、参列した関係者の皆さんからは、その美しさに思わずため息がもれました。



この日の法要は、後に行われる「遷座（せんざ）法要」に先立って、無事ご本尊をお迎えできた感謝の意味を込めて行われた「ありがとう法要」。大きな工事が実施されたこの一年を、感謝の気持ちで締めくくりました。



関係者の皆さんも貴重なシーンをカメラにおさめていました。



新しい本堂に住職のお経の声や金の音が響きわたりました。



金箔まばゆい宮殿とその内部(左・中)。袖板(そでいた)の蒔絵(まきえ)も美しく(右)。



金箔を細く切って貼る「戳金(きりかね)」の装飾は、背面にもびっしり施されていました

★以前の形はそのままに、強度と美しさを増した新本堂の完成も、まもなくです。今日お迎えしたご本尊は、元日に皆様にご披露いたします。新しい年の始まりに、ぜひお参りにいらしてくださいね。(住職記)